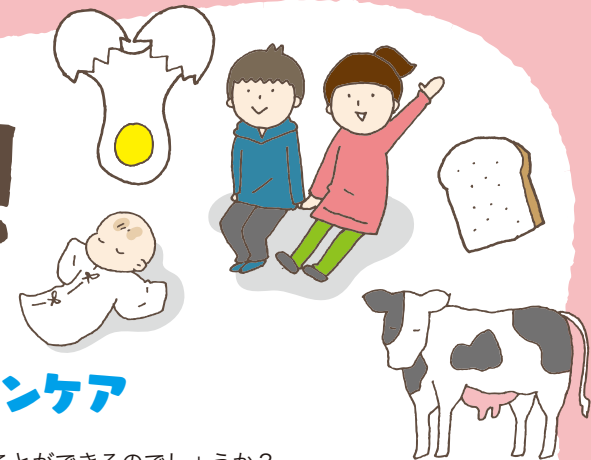


食物アレルギーを予防しよう!!



妊娠中の食生活が原因ではない

以前は食物アレルギーは、原因となる食物を妊娠中のお母さんが食べすぎたからとか、母乳を介してなりやすくなると言われていたため、妊娠中や授乳中に食物アレルギーになりやすい食物を避けるお母さんも多くいました。

ママは
食べもOK!!



原因は妊娠中や授乳中の食生活ではない

離乳食は遅らせない

また「赤ちゃんの消化管は未発達のため、早く食べ過ぎると食物アレルギーになりやすい」と言われていましたが、現在は、むしろ消化管から吸収されたものは、食物アレルギーになりにくいということがわかってきました。

このため、離乳食が始まったら、卵や乳製品、小麦といったアレルギーになりやすい食物を遅らせるのではなく、離乳食の本や離乳食教室で推奨されているとおりにすすめていくことが大切です。

ただし、初めて食べるものは少量から始め、卵はしっかり火が通ったものから始めましょう。



離乳食は推奨されている通りにすすめましょう



原因のひとつは湿疹

現在わかっている原因としては、いくつか要因があります。

その一つは、新生児期から乳児期早期に湿疹などがあり皮膚が汚いと、湿疹のある部位などから食物が体の中に入り食物アレルギーになりやすくなるというものです。

通常の皮膚は外界の異物を体の中に入らないようにしっかり防御していますが、湿疹があると、皮膚バリア機能が低下しており、そこから食物が体内に入りやすくなります。侵入した食物が体の中に入ると、異物と判断され、以後、本来無害のはずの食物を食べたときに、アレルギー反応が起きてしまいます。



湿疹などの皮膚の状態が関係

大切なのはスキンケア

では、どうしたら湿疹を防ぐことができるのでしょうか？

お母さんのお腹の中にいた時にお母さんから男性ホルモンや女性ホルモンといったホルモンが伝わっており、生まれてからもしばらくはそのホルモンの影響がでます。したがって、新生児期から乳児期早期には新生児のニキビや脂漏性湿疹などの湿疹がでやすくなります。

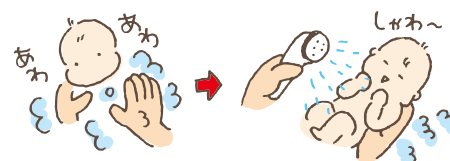
この湿疹を予防するためにはスキンケアが大事です。

お風呂上り、できれば15分以内に保湿剤を体に塗ってあげましょう。

湿疹が出た人は、まずお風呂で乳幼児用の石鹸でやさしく洗って、よく洗い流してあげましょう。それだけでよくなってきます。それでも改善なければ、弱めのステロイドを塗ってあげましょう。1カ月健診でお薬は処方できるので担当の医師にお伝えください。

なお、湿疹が出て、すぐに食物アレルギーになるわけではありません。湿疹は、もともとのアレルギー体質に加え、いくつかの要因も加わってできるので、あわてなくてもいいでしょう。ただし放置はお勧めできず、予防していくのが大事です。

やさしく洗って、よく流す



1ヶ月検診で

お薬も出せるので
気軽にご相談を



お風呂のあと15分以内に保湿をする

